

たぶんかきょうせいしゃかいすいしんしん あたら  
ひょうご多文化共生社会推進指針を 新しくしました

1 新しくする 目的

2016年3月に「ひょうご多文化共生社会推進指針」をつくりました。いろいろな文化の人たちが兵庫県でいっしょに暮らしやすくなるための計画です。その後社会や経済の様子が変わりました。兵庫県ではいろいろな国から来た外国人の住民がふえています。産業にとって大切な外国人もふえています。いろいろな文化の人たちがもっと暮らしやすくなるようにこの計画を新しくしました。これから5年間の計画です。

<社会や経済の様子が変わりました>

- ・外国人の住民がふえています。外国人の国籍や外国人がいる地域もふえています。
- ・「出入国管理及び難民認定法」<外国人が日本に入るときについての法律>が変わりました。「特定技能」という新しい在留資格ができました。
- ・「日本語教育の推進に関する法律」ができました。みんなが日本語を勉強できるようにするための法律です。
- ・総務省<国の役所>が「地域における多文化共生プラン」をあたらしきました。SDGs<将来のために環境をまもりながらいまの生活をもっとよくするための目標>の考えにあわせて新しくしました。
- ・新型コロナウイルスが広がって多文化共生<いろいろな文化の人たちがいっしょにくらす>の環境も変わりました。

2 兵庫県に住む外国人の様子

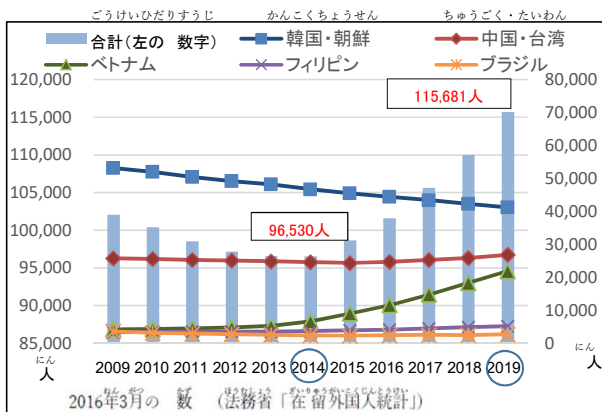
(1) 兵庫県に住む外国人の数

① 2014年から2019年までの様子

2014年12月の在留外国人の数は96,530人でした。そのときからふえています。2019年12月には115,681人になりました。日本で7番目に多いです。5年の間に19,151人(19.8%)ふえました。

② どの国・地域の人が多いか(2014年-2019年)

2019年12月は韓国・朝鮮の41,206人が一番多かったです。つぎに中国・台湾が26,821人、ベトナムが21,870人でした。2014年12月とくらべるとベトナムが15,290人(232.4%)ふえました。国籍の数は、2014年12月は141でした。2019年12月は、157にふえました。



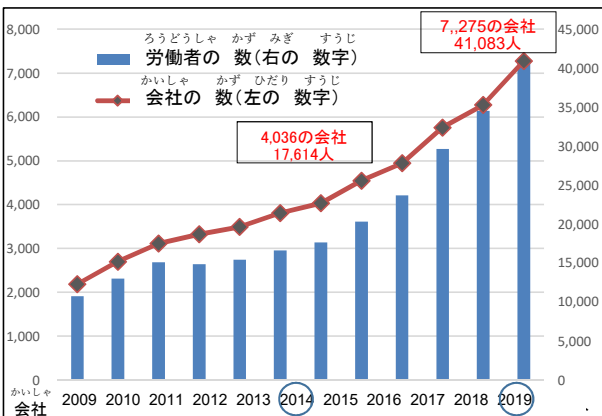
③ 外国人が住んでいる地域(2014年-2019年)

2019年12月は神戸地域が50,155人で一番多かったです。ふえる割合が一番高いのは北播磨地域で、93.1%ふえました。但馬・丹波・淡路も50%以上ふえました。

(2) 兵庫県で働く外国人

① 2014年から2019年までの様子

外国人が働いている会社の数と、兵庫県で働いている外国人の数はどちらもふえています。2014年は4,036の会社、17,614人でした。2019年には、7,275の会社、41,083人にふえました。



② どの国・地域の人が多いか(2014年-2019年)

2019年はベトナムの17,207人が一番多かったです。つぎに中国が9,582人、フィリピンが3,094人でした。2014年と比べるとベトナムが14,877人ふえました。

(3) 兵庫県の外国人留学生

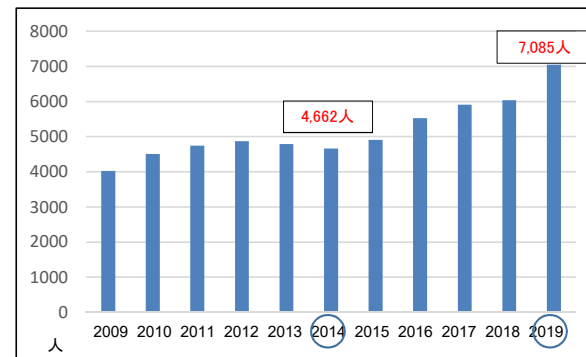
① 2014年から2019年までの様子

2014年の外国人留学生の数は4,662人でした。2019年には7,085人にふえました。

② どの国の人が多いか

(2014年-2019年)

2019年は中国の3,065人が一番多かったです。つぎにベトナムが2,065人、韓国が424人、ネパールが228人でした。2014年と比べるとベトナムが1,786人ふえました。



(兵庫県地域留学生交流推進会議「兵庫県内外外国人留学生在籍状況調査」)

3 社会や経済の様子が変わって必要になったこと

(兵庫県の市や町・駅周辺の施設、駅周辺の住民に話をきいてわかったことです)

① 外国人の国籍や住む地域がふえたことにあわせてひつようなことをします

- ・兵庫県に住む外国人がふえて、国籍の数もふえています。外国人がいる地域もふえています。住んでいる外国人の様子をよく見て、それぞれの地域の事情にあわせた環境をつくるひつようがあります。
- ・兵庫県のどの地域でも、外国人があんしんして医療のサービスをうけることができるようにするひつようがあります。
- ・さいきん外国人がふえている地域では、地域の住民が多文化共生をよく理解することがひつようです。

② 教育をよくします

- ・外国人の児童・生徒がふえています。学校で勉強するための言葉をまなんで、学力を高くするひつようがあります。児童・生徒が、仕事ができる力をそだてて、満足な人生をおくるためです。
- ・「日本語教育の推進に関する法律」ができました。幼児・児童・生徒、外国人留学生、会社で働いている人たちが、住んでいる地域のなかで日本語を勉強できるようにするひつようがあります。

③ 兵庫県の産業にとっても外国人は大切です

- ・会社で働く外国人の様子をしっかりと知って、働きやすくするためにたすけるひつようがあります。兵庫県の経済を強くするためにもひつようです。
- ・外国人が地域の社会や人々と交流して、お互いに協力できるようにする必要があります。

④ 災害<地震・津波・洪水など>・感染症<新型コロナウイルスなど>にそなえます

- ・外国語でもっと情報をつたえることができるようにするひつようがあります。外国人が相談できる場所をふやすひつようがあります。病気をひろげない「新しい生活様式(ひょうごスタイル)」にあった多文化共生をすすめるひつようがあります。

4 めざす姿・必要なこと・すすめること イメージ

1 めざす姿

兵庫県を多文化共生<いろいろな文化の人たちが いっしょに くらす>の社会にします。いろいろな文化が もつ いいところを 活用します。兵庫県の住む人たちが みんな いっしょになって 地域を 元気にします

2 必要なこと

外国人の 住民について 社会や 経済の 様子が 変わって 必要になったこと

(1)外国人の 国籍や 住む 地域が ふたたごに あわせて ひつようなことをします

(2)教育を よくします

(3)兵庫県 産業にとつても 外国人は 大切です

(4)災害<地震・津波・洪水など>・感染症<新型コロナウイルスなど>に そなえます

3 誰がすすめるか

兵庫県、市や 町、兵庫県にある 国の 役所、兵庫県・市や 町の 国際交流協会、外国人の 集まり、外国人を たすける 団体、企業、教育機関、地域住民の 組織

連絡を とりながら いっしょに 活動する

4 すすめていくこと

(1)特に 大事に すすめていくこと

①兵庫県の 住む 外国人の 人権<生きる 権利>を 大切にします

②兵庫県の 住む 外国人が 地域の 活動へ 参加しやすくなります

③外国人の 児童・生徒などが 教育を うけることが できるようにします

④医療通訳を 使いやすくなります

⑤災害・感染症に 負けないようにします

(2)すすめていくこと

①多文化共生の 意識を つくります

②いろいろな 文化を 理解して 活躍できる 人を そだてます

③暮らしやすく 働きやすい 生活が できるようにします

④誰もが 参加できる 元気な 地域をつくりま

①多文化共生が 大切なことを たくさんの人に 知らせます

②外国人の 児童・生徒が 日本語 や じぶんの 国の ことばを 勉強できるようにします

③いろいろな 外国語で 情報をつたえます

④いろいろな 外国語で 相談できるようにします

⑤外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくなります

①外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくなります

②外国人留学生や 仕事を する 外国人が 来やすくなります

③外国人の 感覚をもった人を 兵庫で そだてます。外国との 交流を すずめます

④外国人が 就職を たすけます。働きやすくなります

⑤災害<地震・津波、洪水など>に そなえます。災害のとき 早く 情報を知ることができるよう にします

⑥病気が 広がるのを ふせぎます

5 特に 大事に すすめていくことが 5つあります

社会や 経済の 様子が 変わったので、下の 5つのことを 特に 大事に すすめていきます。関係する 役所や 団体などが 協力しながら 一緒に すすめていきます。

①兵庫県の 住む 外国人の 人権<生きる 権利>を 大切にします

生活・文化、スポーツの 交流などで、外国人と 地域の 住民は お互いに よく 理解するようになりました。しかし、外国人の 差別は 今でも まだ 残っています。外国人を 攻撃することを いう人もいます。おたがいの もつ 歴史を 理解して、国籍や 民族の ちがいを みとめることで、外国人の 人権を 大切に する 多文化共生の 社会をつくりま

②兵庫県の 住む 外国人が 地域の 活動へ 参加しやすくなります

兵庫県の どの地域でも、会社、監理団体<技能実習生を しょうかいする 団体>、役所、地域の人たちが お互いに 意見を 交換できるように します。これから もっと ふえていく 外国人と まわりの 住民が 交流して、お互いを たすけるように します。自分とは ちがった人たちとも 一緒に 暮らすことが できる 地域をつくりま

外国人が 働きやすい 条件で 安全に 働くことが できるように します。

③外国人の 児童・生徒などが 教育を うけることが できるように します

勉強するための 言葉を 学校で まなんで、学力を 高めます。相談も できるように します。進みたい 高校や 大学に入って、満足な 人生を おくるためです。また、兵庫県の いろいろな 地域の 高校で、きまった 数の 外国人を 特別に 入りやすく します。学校の 先生が 多文化共生について 勉強しま

外国人の 児童・生徒が 安心して あつまって 教育を うけることが できる 場所をつくりま。地域の 日本語教育を たすけます。外国人の 集まりで 自分の 国の 言葉を 勉強できるように たすけます。

④医療通訳を 使いやすくなります

医療機関をもっと 便利にして、外国人が 安心して 医療サービスを うけることが できるように します。医療通訳も 使いやすくなります。地域の 病院をもっと 使いやすくなります。

⑤災害・感染症に 負けないように します

役所や 生活の 情報を 外国語や かんたんな 日本語で つたえます。外国人のための 相談窓口が お互いに 連絡を とりやすく します。病気を ひろげない「新しい生活様式(ひょうごスタイル)」に あつた 多文化共生を すずめます。大きな 災害のときに いろいろな 外国語で 情報をつたえる 場所をつくりま。外国人に 情報を つたえやすくなります。



## 6 すすめていくこと

兵庫県を 多文化共生 いろいろな 文化の人たちが いっしょに <くらす>の 社会にします。いろいろな 文化が もつ いいところを 活用します。兵庫県に すむ人たちが みんな いっしょになって 地域を 元気にします。

### 1 多文化共生の意識をつくります

実行する 計画

(1) 多文化共生が大切なことを たくさんの人に 知らせます

- ① 地域の 住民や 会社、NGOなどが 参加する 勉強会をします。
- ② 外国にある 県の 事務所などを つかって 外国の 多文化共生について しらべます。
- ③ 多文化共生の 教育を 進めます。
- ④ 外国人への 攻撃や 差別的 書きこみが ないように インターネットを しらべます

(2) 地域の 様子に あわせて 多文化共生の 環境をつくり、情報を つたえます

- ① 外国人と 地域に 住んでいる人が 話せるようにします。外国語を 翻訳する 機械や 通訳を つかいます。
- ② 外国人と 地域に 住んでいる人が 話すことで、多文化共生が 大切だということを みんなが 知ります。
- ③ 外国人が たくさん 住んでいる 地域のことを 紹介します。
- ④ 兵庫県ぜんたいで 多文化共生が すすみやすい 環境をつくります。

### 2 いろいろな文化を理解して活躍できる人をそだてます

(1) 外国人の 児童・生徒が 日本語や じぶんの 国の ことばを 勉強できるようにします

- ① 学校で 先生が 日本語を 教えることが できるようにします。先生の 教育をします。
- ② 小学校や 中学校で 日本語や 多文化共生を 教えるための 研究をします。
- ③ 特別な クラスを つくって 日本語を 教えます。
- ④ 先生が 日本語を おしえるときに 手伝う人を 学校へ 送ります。
- ⑤ 外国人が 自分の 国の ことばや 文化について 知ることを たずけます。
- ⑥ ふだんの 生活の なかで 安心して あつまることのできる 場所をつくります。
- ⑦ 地域で 日本語を もっと 勉強できるようにします。

(2) 外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくします

- ① 外国人の 児童や 生徒を たずける人を 学校へ 送ります。「子ども多文化共生サポーター」です。
- ② 外国人の 児童や 生徒が 学校へ 行くのを たずけます。日本語の 勉強や 進学、就職について 相談が できます。
- ③ 「子ども多文化共生コーディネーター」に 勉強や 進学・就職の 相談が できます。外国人を たずける 団体を 紹介します。
- ④ 外国人の 児童や 生徒が 学校で 勉強することについて 先生を 教育します。
- ⑤ 県立高校で 決まった数の 外国人を 特別に 入りやすくします。外国人が 勉強しやすくなるように たずけます。
- ⑥ 外国人の 生徒が 夕方から 勉強できる 中学校を ふやします。
- ⑦ お金が なくて 学校で 勉強できない 生徒を たずけます。
- ⑧ 外国人学校を たずけます。外国人学校の 生徒が 地域の 住民と 交流することを たずけます。

(3) 外国人留学生や 仕事をする 外国人が 来やすくします

- ① 外国人留学生のための とくべつな 試験をします。外国人留学生が 県立大学へ 入りやすくするために。
- ② 外国人留学生が 勉強するための お金を 兵庫県が 出します。
- ③ 外国人留学生が 兵庫県の 会社で 働くことが できるようにします。
- ④ 外国の 会社と 高度外国人材<せんもの 技術や 知識を もった 外国人>を 兵庫県に よびます。
- ⑤ 兵庫県の 会社で 高度外国人材が もっと 働けるようになります。

(4) 外国の 感覚を もった人を 兵庫で そだてます。外国との 交流を すすめます

- ① ちがう 文化について 理解する 子どもを 学校で そだてます。
- ② 児童や 生徒が 外国語を つかうことが できるようにします。外国人の 先生が たずけます。
- ③ 国際感覚を 持って 外国人と しっかり 話すことが できる人を そだてます。
- ④ 兵庫県と 関係がある 外国の まちに 交流のための人を 送ります。
- ⑤ 外国の 感覚をもって 多文化共生の 社会をつくります。
- ⑥ 県立大学で 英語で うけることが できる 講義を ふやします。外国人留学生との 交流を すすめます。
- ⑦ 外国の 会社について 知ることが できるようにします。外国に 関係がある 仕事をしたい学生を ふやします。
- ⑧ 観光で 兵庫県に くる 外国人を 迎えることが できる人を そだてます。

### 3 暮らしやすく働きやすい生活ができるようにします

(1) いろいろな 外国語で 情報を つたえます

- ① 役所や 生活の 情報を 外国語や かんたんな 日本語で つたえます。
- ② SNSを つかって 外国語で 情報を つたえます。
- ③ 翻訳の 機械などを つかって 外国人と 地域の 住民が 話しやすくします。
- ④ かんたんな 日本語で 情報を つたえます。
- ⑤ 外国人にも わかりやすい 言葉で 情報を つたえます。

(2) いろいろな 外国語で 相談できるようにします

- ① こまっている 外国人が 外国語で 相談できるようにします。
- ② 外国人が 集まる場所をつくる人たちや 外国人を たずける 団体を たずけます。
- ③ 市や 町で もっと 外国人が 相談できるようにします。
- ④ 国際交流協会や 相談窓口など 外国人を たずける 団体を 連絡を とりやすくします。
- ⑤ 兵庫県の どの地域でも 翻訳の 機械などを つかって 相談できるようにします。

(3) 日本語や 日本の 文化・習慣を 勉強できるようにします

- ① 日本語や 日本の 文化・習慣について 勉強できる場所を ふやします。
- ② 生活している 地域で 日本語を 勉強できるようにします。

- ③ 日本語や日本の文化・習慣について勉強できる教科書などをつくれます。
- ④ 日本語教室で勉強する外国人が社会に参加しやすくなります。
- ⑤ 地域の日本語教室をたずけます。
- ⑥ 日本語をおしえる先生や外国人をたずける人をそだてます。

(4)医療・保健・福祉のサービスをうけやすくします

- ① 地域の病院をもっとつかいやすくします。
- ② 病院の通訳をつかいやすくします。インターネットなどもつかえます。
- ③ 外国語をつかうことができる病院についての情報をたくさんの人に知らせます。
- ④ 日本の社会福祉の制度についてたくさんの人に知らせます。
- ⑤ 子育てや福祉のサービスについて外国語で情報を知らせます。

(5)住む家を見つけやすくします

- ① 家を借りることをことわられた外国人をたずけます。
- ② 外国人に貸すことをことわらない家の情報をたずめます。
- ③ 外国人に家を貸すことをことわらないように教育をすすめます。
- ④ 生活の規則や習慣などについて情報をたずめる活動をたずけます。その活動を兵庫県ぜんたいに広めます。

(6)外国人の就職をたずけます。働きやすくします

- ① 外国人をやといやしくするように会社からの相談をうけます。
- ② 技能実習制度が正しくつかわれるようにします。会社・地域・役所が連絡をとりやすくします。
- ③ 外国人をやとう会社の意識を高めます。
- ④ 関係する役所といっしょに外国人が安全に安定してはたらくことができるようにします。
- ⑤ 外国人をやといやしくするように国にたのみます。
- ⑥ 関係する役所といっしょに外国人の就職をたずけます。仕事に必要な教育をします。
- ⑦ 会社で働くために必要な日本語教育をすすめます。
- ⑧ 外国人留学生が兵庫県の会社でインターンシップ<試しに働くこと>をできるようにします。

(7)災害<地震、津波、洪水など>にそなえます。災害のとき早く情報をしることができるようになります

- ① 役所や地域の住民の団体といっしょに普段から情報をたずめます。地域の外国人の数を覚えておきます。
- ② 外国人のために災害がおきたときにそなえて訓練をします。
- ③ 災害についての情報を外国語でたずめます。
- ④ 大きい災害のときに外国語で情報をたずめる場所をつくれます。
- ⑤ 災害についての情報をかんたんな日本語でたずめます。
- ⑥ 災害のときに家族などと連絡がとりやすくします。
- ⑦ 災害のときに避難所<みんなが逃げるところ>で外国語を話せるようにします。翻訳の機械などをつかえます。

(8)病気が広がるのをふせぎます

- ① 病気が広がらないように外国語やかんたんな日本語で情報をたずめます。
- ② 差別の書きこみがないようにインターネットをしらべます。
- ③ 外国人のあつまりや外国人をたずける団体が感染症<うつる病気>に気をつけて活動することをたずけます。
- ④ 医療についての情報や仕事をにつづけるための情報を外国語やかんたんな日本語でたずめます。
- ⑤ 病気が広がっているときに情報をたずめます。外国人をたずけます。
- ⑥ 関係する役所などといっしょに外国語で相談できるようにします。
- ⑦ 外国人学校で教育をつづけるため病気が広がらないようたずけます。
- ⑧ 外国人学校の授業を家でもうけることができる環境をつくれます。

4 誰もが参加できる元気な地域をつくれます

(1)兵庫県にすむ外国人が地域の活動へ参加しやすくなります

- ① 役所、外国人をたずける団体、外国人のあつまりなどが活動しやすくなります。
- ② 外国人のあつまり・外国人をたずける団体などの意見を聞きます。
- ③ 外国人のあつまり・外国人をたずける団体などが連絡をとりやすくします。
- ④ 外国人のあつまり・外国人をたずける団体などが交流する行事をたずけます。たくさんの人が参加できるようにします。
- ⑤ 兵庫県に住む外国人と、外国人をたずける住民が知り合うようにします。
- ⑥ 外国人が地域の活動に参加している地域のことを調べます。その情報をほかの地域につたえます。

(2)多文化共生をすすめる人をそだてます

- ① 外国人をたずける活動をすすめる人をそだてます。勉強会などをします。
- ② 地域の多文化共生をすすめる人をそだてます。
- ③ 通訳をしたり学校で英語をおしえる外国人が地域の多文化共生をすすめる活動に参加しやすくなります。
- ④ 多文化共生をすすめる外国人のあつまりなどをたずけます。